



健康編

8

男性の不妊症ってどんなもの？

ポイント

- ①不妊症の原因は男性も約50%関与している。
- ②不妊症が疑われる場合は、男性も積極的に治療に臨む姿勢が大切。
- ③男性不妊症の9割は造精機能障害。このうちの3割は「精索静脈瘤」という病気だが、手術で改善するケースが多い。

なるほどリ 不妊に悩む夫婦が増えていると聞きます。最近では特に、男性側にも原因があることが注目されるようになりました。

柴田 世界保健機関(WHO)や日本産科婦人科学会によると、不妊の定義は「一年以上正常な夫婦生活を継続しても妊娠しない」

です。現在、日本では約15%に上るとされています。うち、男性側にも原因があるのは40〜50%で、半数に近いことが分かっています。

さらに、男性不妊症の約90%は、精子を十分に造ることができない機能の障害と言われています。そのうちの50〜60%は原因が分からず、根本的な治療が困難な状態です。しかし、残りの20〜30%は「精索静脈瘤」という病気で、治療によって改善します。

Q どんな病気なのですか。

A 精巣につながっている静脈の束がうっ血して拡張し、精巣の温度が上昇することで機能低下する状態を指します。そもそも精巣は、体温より2〜3度低い状態がよく機能するので、温度上昇は機能低下を招くのです。

この静脈が、左側では腎臓の静脈に直角につながっているため、構造上、血液が逆流しやすいのです。そのため、98%が左側の精巣に発生します。ただ、一般的に症状はなく、ほとんどの人は痛みを感じません。

Q どんな治療をするのですか。

A 視診、触診、超音波

「精索静脈瘤」なら手術で改善も



◇柴田康博(しばた・やすひろ) 1966年2月生まれ。群馬大医学部を卒業後、群馬大泌尿器科入局。県立がんセンター、前橋赤十字病院などを経て、2000年に医学博士。04年から群馬大医学部付属病院講師。日本生殖医学会専門医。日本泌尿器科学会専門医、指導医。

検査で確認します。病気と原因は、男性側にも女性と診断したら、手術をします。同等に疑うべきで、面倒くさい具体的には、局所麻酔をしたうえで、精巣近くの足の付け根辺りにある、拡張している静脈の束を縛って切断します。精子を運ぶ「精管」や動脈、リンパ管は残します。

一方、医療体制側にも問題があります。男性不妊患者が多いのに、専門医が少くないのです。日本生殖医学会に所属する生殖医療専門医は今年4月現在659人で、このうち男性側を診る泌尿器科は58人(8.8%)、産婦人科は601人(91.2%)と偏っています。県内では私一人だけです。こうした偏在を解消することも課題となっています。【まとめ・吉田勝】

術時間は1時間15分程度で、精子の濃度、運動率のいずれかが80%近くの人で改善されています。

Q 男性の不妊治療を巡る問題点について教えてください。

A まず、不妊治療に関して「仕事が忙しい」などの理由で男性の方が女性より積極的でない人が多い。女性と同様に、男性も年齢が上がれば上がるほど「精子力」は落ちます。不妊の

テーマを募集します

「生活なるほどリ」の掲載テーマを募集しています 〒371-0026 前橋市大手町3の6の4 毎日新聞前橋支局「生活なるほどリ」係。またはメール maebashi@mainichi.co.jp.

